

## 今週（5月7日から5月10日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、資金需給要因として7日に2Y発行、9日に税・保険料揚げ、10Y発行があった。その他、大型連休明けとなったことで、銀行券の還流が連日強く見られていた。大型連休前には調達を抑制する向きもあったものの、積み期間後半に入ったことで、都銀・信託業態を中心とした取り手の調達意欲が旺盛となった。無担保コールO/N加重平均レートは、▲0.07%台から▲0.03%台へと上昇する展開となり、週末の10日も邦銀・証券業態からの調達で▲0.035～▲0.02%のレンジで出合うなど、堅調な地合いが続いていた。ターム物の出合いは1～2Wのショートタームを中心に散発的な出合いが見られた程度であった。

固定金利方式の共通担保資金供給オペは、10日に2W・15,000億円がオファーされ、応札額3,003億円（期落ち額4,081億円）の札割れとなった。

### ●レポ市場

今週のGC O/N物は、積み期間後半に入ったことや週後半に短国の発行要因が連続した事もあって、資金調達ニーズが見られるようになった。レートは週末にかけて上昇する展開となり、概ね▲0.09～▲0.05%程度の水準で推移した。

SC個別銘柄では、5年130～139、10年336～354、20年160～168、30年55～62、40年6～11などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、大型連休明けとなったことで週初は水準感が定まらなかったものの、3日連続で行われた入札を経て、3M～6M物は概ね▲0.15%程度での推移となった。入札が3日連続で行われることでレートの上昇が見込まれていたものの、店頭見合いの買いが散発的に入ったため、上昇幅は限定的なものにとどまり、全般的に堅調なマーケットとなった。

8日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.150～▲0.145%で出合う展開となる中、平均落札利回▲0.1492%、按分落札利回▲0.1409%と、WI取引を反映して順調な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.155～▲0.149%の出合いと堅調に推移した。

9日に実施された6M物の入札は、WI取引において▲0.150%で出合う展開となる中、平均落札利回▲0.1518%、按分落札利回▲0.1458%と、水準感からの買いも入ったことから、前日の3M物に引き続き順調な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、出合いは無かった。

10日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.170～▲0.160%と強めの出合いが見られたものの、平均落札利回▲0.1602%、按分落札利回▲0.1526%と、WI取引ほどの強さは見られない結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.161～▲0.155%の出合いと堅調に推移した。

### ●CP市場

今週のCP市場は、大型連休前に多めに調達を行っていた企業が多数見られたこともあって、償還総額5,700億円弱に対して、発行総額は3,000億円強にとどまり、週を通して案件が少ない静かなマーケットとなった。大型発行案件は鉄鋼・機械等から一部見られた程度で、比較的小口の案件が中心となったが、市場残高は20兆円台強と高水準での推移となっていた。レート水準は、市場残高が順調に伸張していることに加え、運用ニーズが連休前に比べて若干低下したこと、5月末以降には事業法人の資金需要増が見込まれることなどから、積極的なマイナス水準での決着は影を潜めていた。殆どの銘柄が0%付近に張り付いており、4月後半と比べて総じて高めの水準での決着が中心であった。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (円/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
5/6 (月)						
5/7 (火)	21,923.72	△ 0.055	110.72	△ 0.070	△ 0.096	3,972,600
5/8 (水)	21,602.59	△ 0.055	110.01	△ 0.061	△ 0.083	3,977,800
5/9 (木)	21,402.13	△ 0.050	109.95	△ 0.048	△ 0.060	3,937,400
5/10 (金)	21,344.92	△ 0.050	109.85	△ 0.033	△ 0.065	3,945,800

## 来週（5月13日から5月17日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
5/13 (月)	4月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 3月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)				
5/14 (火)	3月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 4月の景気ウォッチャー調査(内閣府)	30Y 7,000億円 5/15発行			
5/15 (水)	4月のマネーストック(日銀 8:50) 3月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)	交付税借入 10,500億円 5/24借入			3月の米企業在庫 4月の米小売売上高 4月の米鉱工業生産・設備稼働率 1-3月期のユーロ圏GDP2次速報
5/16 (木)	4月の企業物価指数(日銀 8:50)	TB1Y 19,000億円 5/20発行	5Y 19,000億円 5/17発行		4月の米住宅着工件数
5/17 (金)	3月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30) 3月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TB3M 43,000億円 5/20発行	国有林野借入 614億円 5/27借入		5月のミシガン大消費者信頼感指数速報 4月のユーロ圏消費者物価指数改定値

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
5/13 (月)	4,100	▲ 6,600	▲ 2,500	全店共通 CP買入 国債補完	▲ 4,100 ▲ 100 200	3,000	▲ 1,000	▲ 3,500	TB3M発行▲42800償還42800 10Y物価連動発行▲4000
5/14 (火)	4,000	▲ 4,000	0				0	0	源泉所得税
5/15 (水)	4,000	▲ 1,000	3,000				0	3,000	2Y償還10200 30Y発行▲7000 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲4000(見込み) 個人向け3Y・5Y償還800
5/16 (木)	4,000	1,000	5,000				0	5,000	交付税借入▲10500期日10500
5/17 (金)	2,000	▲ 21,000	▲ 19,000	被災地支援	▲ 300		▲ 300	▲ 19,300	5Y発行▲19000
週間合計	18,100	▲ 31,600	▲ 13,500	—	▲ 4,300	3,000	▲ 1,300	▲ 14,800	

5/13は日銀予想、5/14以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、積みの最終週となるため、15日までは引き続き堅調な地合いが予想される。16日以降は新しい積み期に入ること、無担保コールO/N加重平均レートは一旦低下することが見込まれる。レポ市場は、週の前半は参加者のスタンスに大きな変化がなければ、レートは小高い水準で、横ばい圏で推移すると見られる。新しい積み期間に入っからは一定程度低下することが予想される。短国市場は、16日に1Y物、17日に3M物の入札が実施予定となっており、需給環境のレートへの影響など、市場動向が注目される。14日に実施されると見込まれる買入オペにも注目したい。CP市場は、16日にCP等買入オペが2,500億円予定されている。今月は、当初オファー額1,500億円のオペが3回予定されていたが、連休の影響で日程が詰まっていることに加え、オペ残高も高水準に推移していたことから、2回で合計4,500億円に変更された。連休明け最初のオペとなり、1回のオファー額が増加したことで、レートにどのような影響を及ぼすのか注目される。

主要なイベントとしては、特段無い。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。